# ＯＢだより

第36号

発行
京都外国語大学
能楽部ＯＢ会
事務局
印刷
㈲大場印刷


## 創部40周年記念祝賀会について

（Ｓ58Ａ）藤原敏起
〔創部40周年記念祝賀会実行委員長〕

秋涼の候、能楽部のＯＢ会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、来年度で、京都外国語大学能楽部も創部40周年をむかえることとなりました。これもひとえに、ＯＢ会の皆様の長年にわたるご尽力の賜物と心からお祝いと御礼を申し上げます。また、橋本礒道先生の一方ならぬ御指導に深く感謝いたしますと共に、今後の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

つきましては、先日8月8日に京都にて平成11年度ＯＢ懇親会が開かれ、創部40周年記念事業についての活発な意見の交換がなされた結果、次年平成12年3月19日（翌日は祝日）に記念祝賀会を開催することが執行部会を経て決定となりました。

この度は祝賀会案以外にも、ユーモアの有る今後に生かせる各種イベント案として、貴重な意見がたくさん出ました。しかし、30周年記念と同じく、祝賀会形式で創部周年をお祝いすることでひとつの節目が残せるものと考えられ、決定に至りました。（日程につきましては3月度は決算月でもあり、お忙しい方も多いかと思いますが、時期的に気候も良く、現役部員も卒業シーズンで京都に居ることなど諸々の条件が揃いますのでＯＢ会の代表の方々の賛同を得て決定させて頂きました）

昨年度の第35回外大能が盛会のうちに終わりまだ記憶に新しいと思いますが、御出席頂いたＯＢ・ＯＧの方は新たな気持ちでこれからの能楽部を考えておられることと思います。是非、今回は、他のＯＢ・ＯＧの方にも声を掛け合って御参加下さい。

ＯＢ会の会員数も年々増え続け、今では百名を越える大所帯となっております。そこで今回の創部40周年記念祝賀会は、次の50周年に向けて気持ちを新たにスタートさせるべく更なる『**能楽部の団結**』をテーマに展開し、出来る限り有意義な祝賀会にしたいと考えております。その第一歩として、現役部員からも実行委員を選出してもらいＯＢ会の実行委員と共に準備を進めて参ります。

詳しい事柄は決定次第、御連絡致しますので、誠に恐縮ですが今より来年3月19日のご都合をつけて頂きます様、宜しくお願い申し上げます。――最後に今回の創部40周年記念祝賀会実行委員会のメンバーを紹介させて頂きます。――

**実行委員**（平成11年9月現在　五十音順）

| | | |
|---|---|---|
| 大川向真紀 | （Ｈ8卒） | |
| 大塚　友彦 | （Ｓ53卒・ＯＢ会副会長） | |
| 勝又　和弘 | （Ｈ1卒） | |
| 唐木　義昭 | （Ｓ58卒） | |
| 柴田　圭一 | （Ｓ62卒） | |
| 島谷　直美 | （Ｓ51卒・ＯＢ会会長） | |
| 津田　弘文 | （Ｓ58卒） | |
| 松波　浩之 | （Ｓ60卒・実行副委員長） | |
| 三谷　直樹 | （Ｓ60卒） | |
| 宮崎　正人 | （Ｈ8卒） | |
| 藤原　敏起 | （Ｓ58卒・実行委員長） | |
| 藤原　浩晃 | （Ｓ60卒） | |
| 船木　良子 | （Ｈ9卒） | |
| 村上　友美 | （現役部長） | |

14名

# 平成11年度　活動計画

## 事務局

①創部40周年記念事業
・大学への記念品贈呈
もしくは
記念祝賀イベントの開催　等
②機関紙『ＯＢだより』発行
③交流事業の促進
・ＯＢ交歓会　参加
・第36回外大能　出演
（連吟・仕舞）

## 会計局

①外大能会計　助成

## 会員局

①会員・名簿登録管理
②会員報『会員通信』発行

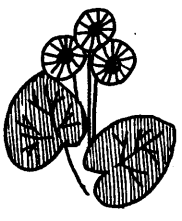
## 事務局 会計局 より

●本年度のＯＢ会会費が未納となっておられる方には、ＯＢだより発送にあわせ再度、振込用紙（郵便局用）を同封申し上げました。

●外大能助成に際し、皆様の暖かいご支援を心よりお願い申し上げます。

※すでにお振込みを済まされ、行き違いの際には、何卒お許し下さい。

〈納入〆切り〉
平成11年12月10日(金)



## 会費納入のお願い

平成11年度ＯＢ会費納入がお済みでない方は、至急お振り込みをお願いします。

| | |
|---|---|
| 一般会員 | 8　千　円 |
| 夫婦会員 | 1万2千円 |

前年度分まで未納の方は本年度分とあわせてお振り込み下さいますようお願い申し上げます。

〔振込先〕
◆郵便口座　00980-5-27919
加入者名　京都外国語大学
能楽部ＯＢ会
林　　洋子

◆銀行口座　大和銀行茨木支店
（普）8657379
加入者名は同じです。

# 第三十六回外大能 番組紹介

〈能　楽〉
葛城　後シテ　石水真理(4)

〈舞囃子〉
融　村上友美(3)

〈仕　舞〉
難波　関桂子(2)
花筐　杉森伸子(2)
天鼓　佐藤友美(2)
玉之段　須田啓子(2)
経正　井上真一(1)
蝉丸　兵道亮太(1)
胡蝶　栗山藍(1)
羽衣　佐々木彰子(1)
キリ　大江山　沖中敏志(1)

〈連吟〉　和布刈
〈素謡〉　橋弁慶
　　吉野天人

〈ＯＢ仕舞〉
賀茂　藤原敏起
雲林院　藤原浩晃
クセ　鉄輪　島谷直美
殺生石　丸町年和

〈ＯＢ連吟〉
菊慈童

〈番外仕舞〉
井筒　橋本雅夫先生
邯鄲　橋本礒道先生
楽アト



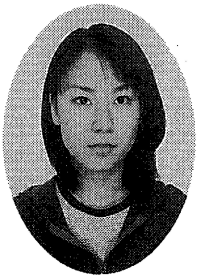
# 第三十六回外大能 ご案内

日時　平成十一年十二月十八日(土)
　　午後一時　始め
場所　京都市烏丸　河村能楽堂

＊　＊　＊　＊

第三十六回外大能の番組が決定しました。部長挨拶とともに、紹介します。

# 御挨拶



村上部長

秋涼の候、ＯＢ会の皆様におかれましては、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。本年、平成11年度部長をつとめております村上友美です。

本年度は、新たに五名の新入部員をむかえました。（特に待望の男子部員の入部があり、上回生一同、大変喜んでいます。）九月現在、総勢十二名にて活動を行っております。

今年もまた春合宿に始まり、新入生の勧誘、アルバイト活動、そして夏合宿と、部員ひとりひとりが一致協力して、一年間の集大成である『外大能』の成功を目指し努力してまいりました。

昨年京都観世会館で開催された第35回記念外大能を一つの大きな踏み台として、新たな気持ちで舞台に臨みたいと思っております。さらなる技能の向上をはかるべく、現在、日々、稽古に励んでいます。

創部以来、時は流れましたが、昔より受け継がれてきた外大能への熱い情熱を、私たちもまた、深く心に秘め、第36回外大能の幕を上げたいと思います。

諸先輩方におかれましては誠に御多忙中とは存じ上げますが外大能当日には、是非とも御来場いただきますよう、また部員一同、先輩方との親睦・交わりを大変楽しみにいたしております。引き続き行われます打ち上げ会にも、なにとぞ御出席賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

**現役部員数**

平成11年10月1日現在

| 回生 | 男 | 女 | 計 |
|---|---|---|---|
| 4 | 0 | 2 | 2 |
| 3 | 0 | 1 | 1 |
| 2 | 0 | 4 | 4 |
| 1 | 3 | 2 | 5 |
| 計 | 3 | 9 | 12 |

# 新会員紹介

（平成十年度卒業生）

会員No.115
広瀬敏恵
英米語学科卒業



今年、ＯＢ一年目の広瀬敏恵です。昨年の記念外大能では舞囃子「船弁慶」をやらせていただきました。現在は私立の女子校で英語の非常勤講師をしています。

この仕事の特権は何といっても「夏休みが長いこと」です。学生時代以上にのんびりと過ごしてしまいました。学生の時は夏休みといってもクラブのことが頭から離れていませんでしたから「合宿までに曲を覚えなくては。」などとあせっていたものです。特に二、三回生の時は、渉外をやっていたので夏合宿の手配の為にバタバタしていたことを思い出します。

バタバタしながらも仕事のミスは多かった私ですが、そんな所は今も変わっていません。でも、そんな忙しい中でも充実感を感じる姿勢も変わらずもっていきたいと思っています。

いよいよ二学期のスタートです。授業をすることは、ようやく慣れましたが、まだまだわからないことばかりです。文化祭や体育祭もありますし、いつ、どんなに忙しくなるかも見当がつかない状態です。できることなら時々はＢＯＸに顔を出す時間と、今年の外大能を観に行く時間があるようにと願っています。

会員No.116
丸町年和
英米語学科卒業



このたび、新しく京都外大能楽部ＯＢ会に入会させて頂くことになりました、丸町年和です。昨年度の記念外大能におきましては、たくさんのＯＢの方々の御支援と御協力をいただいた舞台の成功とともに、能楽「花月」のシテをつとめさせていただきました。そのことを、今も大変な喜びとしています。思えば四年前に右も左もわからないままこの大学に入学し、能楽部に入部した春がとてもなつかしく思われます。

大学に在学した四年間でいろいろな思い出、知り合いができました。

このクラブにおいての一番の思い出といえば、舞台の数々、そして、京都学生能楽連盟を通じて知り合った人々です。私の在学中には五つの大学（京女・同女・外大・立命・同大）がありましたが、当然五大学それぞれの個性というものがあり、そのばらばらの個性が能楽という芸術を通して一つになる、その大変で困難を要する過程は、私の短い人生を見回しても、とても貴重な体験であり、すばらしい宝物のような存在です。その結果というべきでしょうか、連盟で知り合った友達とは今でも仲がいいです。

その他、楽しくて苦しかった思い出はたくさんありますが、現役のみんながができるだけ楽しい思い出ができるように、今度はＯＢという立場から能楽部を支えていきたいと思います。ＯＢとして、まだまだ青いですが、これからもどうぞよろしくお願いします。

## 平成11年度 クラブ執行部・役員紹介

〔部　長〕
渉外　村上友美(3)　フランス語学科

〔副部長〕
渉内　須田啓子(2)　英米語学科

〔外大能実行委員長〕
佐藤友美(2)　英米語学科

〔会計〕
関桂子(2)　中国語学科

〔外大能会計〕
杉森伸子(2)　英米語学科

# 講師・橋本礒道先生

## －平成十二年／演能御紹介－

### 京都

一月十六日（日）
―観世会館―
■聲壽会（せいじゅかい）
「求塚」

八月　期日未定
―観世会館―
■市民能
曲目未定

六月二十五日（日）
―観世会館―
■観世会例会
「一角仙人」

十一月十一日（土）
―観世会館―
■片山定期会
「野宮」
合掌留

## 各局連絡板

### 事務局

※各卒年度の代議員交替の際には、はがきか又はＦＡＸで、事務局まで御連絡下さい。

●事務局

### 会計局

※平成11年度の会費納入がまだの方は、至急お振り込みをお願い致します。

●会計局

### 会員局

※住所、氏名、電話番号など、所属内容に変更のあった際には、すみやかに、はがき又はＦＡＸで、会員局まで御連絡下さい。

●会員局

# 能楽　葛城（かづらぎ）

物語の紹介

作者　不明
四番目物
登場人物　前シテ　里女
後シテ　葛城の神
ワキ　山伏
ワキツレ　同行の山伏
アイ　里人

出羽の国（山形県）羽黒山から来た山伏たちが、大和の国（奈良県）の葛城山にやってきます。降りしきる大雪に難渋して木陰に立ち寄ると、女笠を被り雪の枯れ枝を持った山女〔前シテ〕が現われ、山伏たちを庵に案内します。

女は雪の中で集めて束にした木々の細枝（標　しもと）をたいてもてなし、世の無常を語ります。山伏たちが後夜（午前四時）の勤めにかかろうとすると山女は、自分は昔、役（えん）の行者に命ぜられた岩橋をかけなかった罪で、不動明王の縛縄（ばくじょう）を受けている葛城の神だと打ち明け、加持祈祷を依頼して消え失せます。

【中入】

そこへ山の麓（ふもと）の男が一人上がって来たので、葛城山の岩橋のことについて尋ねます。奇特なことと思い、女神のために山伏たちは祈祷を行います。するとその修法にひかれて、葛城の神〔後シテ〕が現われ、苦を免れた喜びを述べ、大和舞を舞い、夜の明けそめる前に岩戸の内に姿を隠します。

〈メモ〉

葛城山は、河内（大阪府）と大和（奈良県）の境界にそびえる山で標高は九五九メートルです。神話の時代から知られた名山です。近鉄御所駅からバスで十五分。さらに現在はロープウェーで頂上まで登る（所要時間六分）ことができます。

## 編集後記

●来年三月開催の創部40周年記念祝賀会の準備が現在、着々と進んでいます。50年を前にしての、ひとつの大きな節目の年です。より多くの会員の方の参加・出席を願ってやみません。

●第36回外大能も開催が間もなくとなりました。盛会を皆で祈りたいと思います。

## 次号のお知らせ

▽会長　挨拶
▽創部40周年記念祝賀会　開催
▽第37回外大能　開催
▽新ＯＢ会員　紹介
（平成11年度卒業生）

・ＯＢだより第37号は、次年11月1日発行予定です。